

「HIV 感染者の罹患した腫瘍に関する研究」

『HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物に関する研究（承認番号 28-38-1211）』

（研究代表者 四柳 宏 教授）、

『HIV 感染症に関する臨床ゲノム情報に関する研究（承認番号 28-55-0330）』

（研究代表者 四柳 宏 教授）、

『HIV 感染者に合併した腫瘍に関する研究（承認番号 30-6-B0507）』

（研究代表者 四柳 宏 教授）、

『HIV 感染者の合併症に関与するバイオマーカーの探索(承認番号 30-32-B0801)』

（研究代表者 四柳 宏 教授）、又は、

『HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物の探索的研究（承認番号 2021-86-0121）』

（研究代表者 四柳 宏 教授）にご協力いただいている患者様へ

令和 5 年 3 月

平素より私ども感染症分野・感染免疫内科の研究について、格別のご理解をいただき厚く御礼申し上げます。

皆様の多大なるご理解のもと、私どもは HIV 感染症の研究を行っております。HIV 感染症研究をさらに発展させるため、標記の研究を進めることにいたしました。

この研究では、以前より感染症分野・感染免疫内科にて施行しております『HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物に関する研究（承認番号 28-38-1211）』（研究代表者 四柳 宏 教授）、『HIV 感染症に関する臨床ゲノム情報に関する研究（承認番号 28-55-0330）』（研究代表者 四柳 宏 教授）、『HIV 感染者に合併した腫瘍に関する研究（承認番号 30-6-B0507）』（研究代表者 四柳 宏 教授）、『HIV 感染者の合併症に関与するバイオマーカーの探索(承認番号 30-32-B0801)』（研究代表者 四柳 宏 教授）、及び『HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物の探索的研究（承認番号 2021-86-0121）』（研究代表者 四柳 宏 教授）にご提供いただいた試料及び診療情報も使わせていただきたいと思いますため、以下、概要を説明させていただきます。

【研究の目的と方法】

私どもは、HIV 感染症に合併した腫瘍の発症機序や病態についてより正確に理解し、腫瘍の発症予防法やより良い治療法を開発することを目指しています。HIV 感染症の方は腫瘍の合併が起こりやすいことが知られており、合併する腫瘍の種類や発生する部位にも特徴があります。本研究では、HIV に感染した患者様に合併した腫瘍の組織を解析することで、HIV 感染症に合併する腫瘍の発生のメカニズムを検討し、ならびに有効な治療法の確立を目指します。腫瘍の中には、腫瘍細胞の他に、正常な細胞、リンパ球などの免疫細胞など、多くの細胞が含まれています。これらの細胞がお互いにどのような影響を与えあって腫瘍発生に至っているかを、各細胞の遺伝子発現を調べることで検討します。実際には、ご提供いただいた組織を試験管内で酵素処理により分解し、研究機器にて一つ一つの細胞に分離します。分離した細胞に特殊なラベルを付け、その細胞からメッセンジャーRNA（タンパク質合成のもととなる分子）を抽出して、得られた各々の細胞からどのような遺伝子が発現しているかを解析します。HIV 感染症に合併す

る腫瘍細胞において発現変化が認められる遺伝子を同定すること、ならびにそれに対して免疫細胞がどのように応答しているかを知ることにより、効果的な治療法の同定につながる可能性もあります。また、HIV 非感染患者様に認められた腫瘍を同様に解析してその結果を比較することで、HIV 特異的な腫瘍発生機序を解明できる可能性があります。なお、この研究では、遺伝子発現の解析を行うのみで、世代間で受け継がれるゲノムの情報については検討しません。

【対象となる患者様とご協力いただきたいこと】

上記『HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物に関する研究（承認番号 28-38-1211）』、『HIV 感染症に関する臨床ゲノム情報に関する研究（承認番号 28-55-0330）』、『HIV 感染者に合併した腫瘍に関する研究（承認番号 30-6-B0507）』、『HIV 感染者の合併症に関与するバイオマーカーの探索（承認番号 30-32-B0801）』、及び『HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物の探索的研究（承認番号 2021-86-0121）』にご提供いただきました患者様（既に亡くなられた方々も含みます）の、試料及び診療情報を本研究にも利用させていただきたいと思っております。

【個人情報の保護】

試料及び診療情報は、上記の研究のもとで付された符号により引き続き厳重に管理し、研究に用います。試料は東京大学大学院新領域創成科学研究科にて解析を行いますが、特定の個人の識別情報と照合できる資料（対応表）は、当院の個人情報保護管理者が引き続き厳重に管理します。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本研究にご協力いただくことで、患者様に直接的に利益となるようなことはありませんが、HIV 感染症研究の進展につながることを期待できます。

不利益・・・保存されている試料及び診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

【研究協力の辞退について】

本研究にご自身の試料及び診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、患者様の試料及び診療情報を本研究の対象から取り除きます。辞退のお申し出により、不利益が患者様に生じることはありませんのでご安心ください。但し、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承ください。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者様の個人情報には厳重に守られますので、第三者に患者様の個人情報明らかになることはありません。

本研究は、本研究所の倫理審査委員会の承認を得ていることを申し添えます。

本研究についてのご質問、あるいは、本研究への試料及び診療情報の使用について辞退されたい場合などは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書等の資料をご覧いただけますので（但し、他の対象者等の個人情報や知的財産の保護等に支障がない範囲内で）、下記の窓口までご連絡ください。

何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

問い合わせ窓口：

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野/ 附属病院感染免疫内科

よつやなぎ ひろし
四柳 宏 〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

電話： 03-5449-5338, Fax： 03-5449-5427

「HIV 感染者の罹患した腫瘍に関する研究」

東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科において、診断のために腫瘍の病理組織学的検査を受けられた HIV に感染した患者様へ

令和 5 年 3 月

平素より私ども血液腫瘍内科の研究について、格別のご理解をいただき厚く御礼申し上げます。

皆様の多大なるご理解のもと、私どもは HIV 感染症の研究を行っております。HIV 感染症研究をさらに発展させるため、標記の研究を進めることにいたしました。

この研究では、血液腫瘍内科を受診された HIV 感染患者様で、診断のために腫瘍の病理組織学的検査を受けられた患者様の保存試料及び診療情報を使わせていただきたいと思いますため、以下、概要を説明させていただきます。

【研究の目的と方法】

私どもは、HIV 感染症に合併した腫瘍の発症機序や病態についてより正確に理解し、腫瘍の発症予防法やより良い治療法を開発することを目指しています。HIV 感染症の方は腫瘍の合併が起こりやすいことが知られており、合併する腫瘍の種類や発生する部位にも特徴があります。本研究では、HIV に感染した患者様に合併した腫瘍の組織を解析することで、HIV 感染症に合併する腫瘍の発生のメカニズムを検討し、ならびに有効な治療法の確立を目指します。腫瘍の中には、腫瘍細胞の他に、正常な細胞、リンパ球などの免疫細胞など、多くの細胞が含まれています。これらの細胞がお互いにどのような影響を与えあっているかを、各細胞の遺伝子発現を調べることで検討します。実際には、ご提供いただいた組織を試験管内で酵素処理により分解し、研究機器にて一つ一つの細胞に分離します。分離した細胞に特殊なラベルを付け、その細胞からメッセンジャーRNA（タンパク質合成のもととなる分子）を抽出して、得られた各々の細胞からどのような遺伝子が発現しているかを解析します。HIV 感染症に合併する腫瘍細胞において発現変化が認められる遺伝子を同定すること、ならびにそれに対して免疫細胞がどのように応答しているかを知ることにより、効果的な治療法の同定につながる可能性もあります。また、HIV 非感染患者様に認められた腫瘍を同様に解析してその結果を比較することで、HIV 特異的な腫瘍発生機序を解明できる可能性があります。なお、この研究では、遺伝子発現の解析を行うのみで、世代間で受け継がれるゲノムの情報については検討しません。

【対象となる患者様とご協力いただきたいこと】

HIV に感染した患者様で、血液腫瘍内科を受診され診断のために腫瘍の病理組織学的検査を受けられた患者様（既に亡くなられた方々も含まれます）の、保存試料及び診療情報を本研究に利用させていただきたいと思っております。

【個人情報の保護】

試料及び診療情報は、上記の研究のもとで付された符号により引き続き厳重に管理し、研究に用います。試料は東京大学大学院新領域創成科学研究科にて解析を行いますが、特定の個人の識別情報と照合

できる資料（対応表）は、当院の個人情報保護管理者が引き続き厳重に管理します。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本研究にご協力いただくことで、患者様に直接的に利益となるようなことはありませんが、HIV 感染症研究の進展につながることを期待できます。

不利益・・・保存されている試料及び診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

【研究協力の辞退について】

本研究にご自身又はご家族の試料及び診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、患者様の試料及び診療情報を本研究の対象から取り除きます。辞退のお申し出により、不利益が患者様に生じることはありませんのでご安心ください。但し、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承ください。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者様の個人情報は厳重に守られますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。

本研究は、本研究所の倫理審査委員会の承認を得ていることを申し添えます。

本研究についてのご質問、あるいは、本研究への試料及び診療情報の使用について辞退されたい場合などは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書等の資料をご覧いただけますので（但し、他の対象者等の個人情報や知的財産の保護等に支障がない範囲内で）、下記の窓口までご連絡ください。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

問い合わせ窓口：

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野/ 附属病院感染免疫内科

よつやなぎ ひろし
四柳 宏

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

電話： 03-5449-5338, Fax： 03-5449-5427